



**NEWSED
UPCYCLE
DESIGN
AWARD
2016**

使用可能素材リスト

エアバッグ



素材について

エアバッグはシートベルトと同様、安全性にかかわるパーツのためリサイクルができず役目を終え廃棄されてしまいます。この工場に取り外しのされるエアバッグは一度も使用されることなく、廃車にするためだけに取り外されています。NEWSSED PROJECTではそんなエアバッグを丁寧に洗浄し、素材として再生しています。

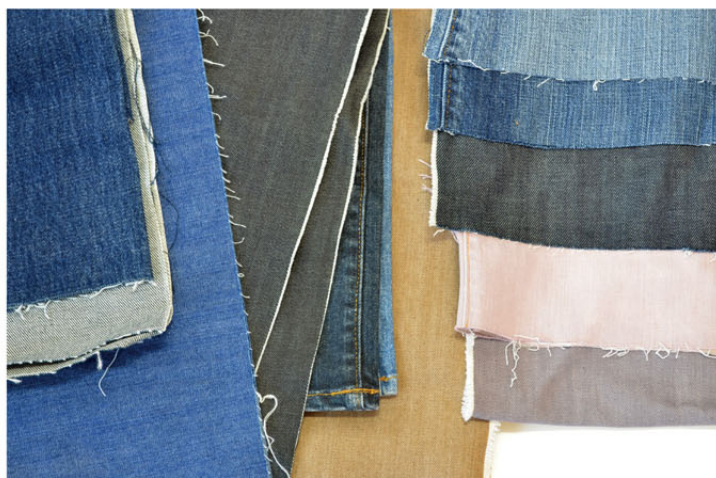
特徴

- サイズは約 W650mm x H650mm (写真の丸型のもの)
- カラーは主に「白」「水色」「ピンク」「グレー」があります。
- 形状は様々でハンドルに取り付けられている丸型のエアバッグや、助手席・カーテンエアバッグなど、四角に近い形状のものなどがあります。
- エアバッグはガスによって膨らみますため、柔軟性にも優れています。
→ 生地はシリコンでコーティング加工がされているため耐摩擦性や防炎性などの特徴があります。
- 車体から取り外す際はカッターで裁断するため、切りっぱなしの状態になっています。
- 毎月数百 kg 回収されており相当数の供給が可能です。

加工例

- 縫製

デニムスワッチ



素材について

年間数百種類の生地サンプルが作られています。生地となる綿は仕入国の気象状況や経済状況などあらゆる条件を加味したうえでさまざまな国の綿を、混紡し各メーカーの望む最適な綿を作り出しています。

綿原産国の出来具合により、毎年割合を変化させて決めています。湿度・温度など少しの条件で綿の織りの風合いや染色の具合が変わってくる上にストーンウォッシュ・ケミカルウォッシュなどの色落ち加工をしたり、経年劣化をみたりと、デニム作りには時間と情熱が惜しみなく注がれます。毎年、各メーカーへ数十パターンを用意し、その年のデニムを決めています。

情熱が注がれたサンプル生地を無駄にすることなく、余すことなく使っていきたい。NEWSED PROJECTの企画主旨に賛同し、生地の提供をして頂いています。

特徴

- サイズは約 W300mm × H600mm
- カラーは一般的な青が一番多く、黒・赤・緑・茶・柄ありなど様々です。
- サンプル生地が5~6枚まとめてハンガーに取り付けられています。生地は全て同じ生地で、ウォッシュなどの加工を見比べるために一束にまとめられています。
- 元が生地サンプルなのでカットされ短くなってしまった物もあります。
- デニムの種類はカラーデニムやストレッチ素材など様々です。
- 年間約1トンほど廃棄されています。

加工例

- 縫製
- プリント

ウェットスーツ生地



素材について

サーファーやダイバーの必需品、ウェットスーツはネオプレンゴム（クロロプレンゴム）の表面と裏側にアクリル 100% & ナイロン 100% & 混合の 3 種のどれかを貼ったものです。非常に密度の高いゴムで空気・水の進入がまったくなく、やわらかい素材なので衝撃に強い。保温効果がある。など優れた素材特性を持つが、化学合成された素材のためリサイクルが進んでいないのが現状です。主に廃棄される素材は鉄を燃やす際の原料（コークス）の代替燃料として提供しています。しかし、焼却には厳しい原料チェックがあり全ての素材を燃やしているわけではありません。自然を楽しむスポーツの為につくられた製品が、環境に悪影響を及ぼしてはならない。そんな想いから再利用を目指し、NEWSSED PROJECT に提供をして頂いています。

特徴

- サイズは約 H1500mm×W2000mm / 生地の厚みは 2mm, 3mm, 5mm の 3 種です。
- オーダーで制作している工場のため生地を発注する際にある程度、人気のカラーを想定して発注します。オーダーの入らない生地（人気の無いカラー）はデットストックとして溜まっていくだけになってしまうため一定期間が過ぎると新品のまま廃棄されてしまいます。
- 生地の特徴は水を通さず、上下左右に伸びる素材です。
- 色は蛍光色や暗めの色など様々です。また表裏で異なる色になっているのも特徴です。
- 制作時に出る端材が 1 ヶ月に約数百 kg / デットストックの原反は約 300kg あります。

加工例

- 縫製
- 型抜き

テント生地



素材について

東京ドーム・上海万博の各国パビリオン・南アフリカワールドカップのサッカースタジアム建設など、国内外の主にスタジアム建設に屋根（ドーム生地）素材として使用されています。この素材は、ガラス繊維などを複雑に組み合わせた特殊な生地にテフロンコーティングがされており劣悪な環境にも対応でき火・水・温度など耐久性はとても高い。耐用年数は30年以上ともいわれています。加えて、光を通し空気を通さない素材のため屋内型ドームなどの屋根として広く使われています。この素材は加工の際に捨ててしまう箇所があり、スタジアム建設規模での生地加工の為、切れ端や部余りした箇所などの端材が少なくありません。素材が丈夫な為、リサイクルには手を焼いており素材特性をいかした活路を見つけていきたいと、NEWSWED PROJECT に提供していただいています。

特徴

- サイズは約 H500mm～2000mm、Wはロールになる為 10mや 50m 等様々です。
- スタジアム建築の受注状況によって異なりますので比較的不安定な素材です。多いときは数万㎡になり、少ないときは0に近いこともあります。
- 素材としての強度もあるのですが、生地自体も独特の重みがあります。
- 色はすべてアイボリーになります。

加工例

- 縫製
- 型抜き

ターポリン



素材について

新築販売を開始した集合住宅では宣伝用にターポリン（塩化ビニール）横断幕を使用することが多く、宣伝用シートなどの販促物の多くは、サイン製作の施工会社がデザイン～施工～撤収までを行います。

平均して数ヶ月～1年程度の販売期間を経て撤収し回収された宣伝用シートは、その全てが廃棄されています。

雨・風・日差しなど外の環境に強い素材であり、汚れや劣化などにも優れているターポリン何かに有効活用できないかと

NEWSED PROJECT によせられました。

特徴

- サイズは約 H5m 四方のものや 10m を超えるものなど用途によって様々です。
- 住所などの文字や電話番号が分かってしまような使い方は NG
- 屋外用のシートなので雨風に強くシート地のは水を通さず、メッシュ地の物は通気性に優れています。
- 写真や画像・単色のもなど様々で、定期的に同じものが出ることはほとんどありません。
- 2～3ヶ月に1回、シートが5～10枚前後出ています。

加工例

- 縫製
- 型抜き